

3. アンケート結果

3.1 市民向けアンケート結果

3. アンケート調査の結果

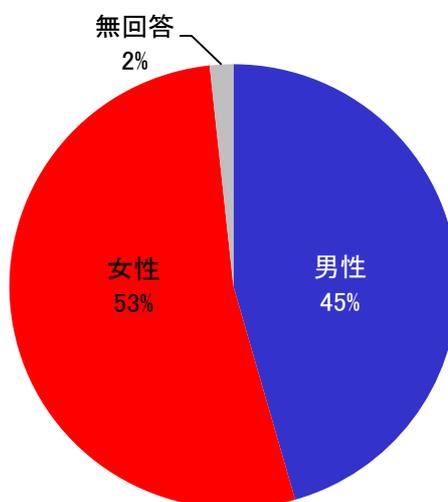
本章では、アンケート調査結果のうち、回答者の属性(性別、年代、居住地)に係る設問および本事業の認知度について、市民向けと訪問客向けそれぞれ述べる。

3.1 市民向けアンケート結果

① 問1 あなたの性別をお答えください。(回答数 N=713)

① 男性 ② 女性 ③ 無回答

選択肢	回答数	比率	実際の人口比率
① 男性	324	45.4%	46.3%
② 女性	377	52.9%	53.7%
③ 無回答	12	1.7%	-
計	713		

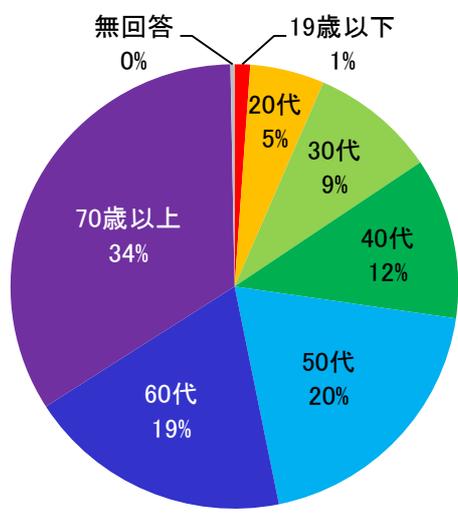


回答者の性別は女性が約 53%を占める結果となった。これは長崎市全体の人口比率とほぼ同じであり、性別による回答者の偏りはないものと判断する。

② 問 2 あなたの年齢をお答えください。(回答数 N=713)

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| ① 19歳以下 | ② 20～29歳 | ③ 30～39歳 | ④ 40～49歳 |
| ⑤ 50～59歳 | ⑥ 60～69歳 | ⑦ 70歳以上 | ⑧ 無回答 |

選択肢	回答数	人口比率	
		回答者	15歳以上
① 19歳以下	8	1.1%	4.8%
② 20～29歳	38	5.3%	9.3%
③ 30～39歳	65	9.1%	10.3%
④ 40～49歳	85	11.9%	13.4%
⑤ 50～59歳	139	19.5%	15.6%
⑥ 60～69歳	136	19.1%	15.8%
⑦ 70歳以上	240	33.7%	30.8%
⑧ 無回答	2	0.3%	-
計	713		



回答者の年齢は50歳以上が7割を占める結果となった。一方、40代以下の若い世代からの回答率は実際の人口比率と比較して低く、特に20代からの回答が少ない結果となった。

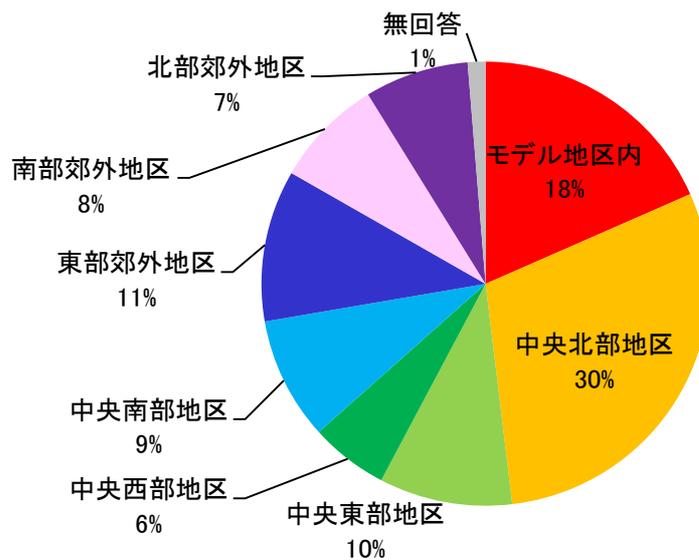
なお、本調査は18歳以上の長崎市民を対象に無作為抽出の形で実施したが、年齢別人口比率は2024年9月末現在における長崎市に居住する15歳以上の人口比率であり、19歳以下は15～19歳の人口比率を示す。

③ 問3 あなたのお住まいはどちらですか。町丁目名をご記入ください。(回答数 N=713)

本問は回答者にお住まいの町丁目名を記入していただく方式を取った。集計は記入した町丁目名に応じて、以下の8地区に振り分けた。

地区分類		該当地区・町丁目名
1	モデル地区内	中央地域のうち、以下の各地区に該当しない町丁目。
2	(モデル地区外) 中央北部地区	中央地域のうち、梁川町、春木町、竹の久保町、宝栄町、岩見町、立岩町、城山町、富士見町、花園町、金堀町、城山台、城栄町、青山町、若草町、小江原、大橋町、本原町、扇町、石神町、辻町、小峰町、三原、西山台、高尾町、本尾町、江平。 西浦上、滑石の各地域センター管内
3	(モデル地区外) 中央東部地区	中央地域のうち、片淵、木場町、鳴滝、夫婦川町、新中川町、伊良林、矢の平、本河内、愛宕、上小島、高平町、彦見町、風頭町、白木町、八つ尾町、桜木町、弥生町、三景台町。 茂木地域センター管内
4	(モデル地区外) 中央西部地区	中央地域のうち、西泊町。 小榎、福田、式見の各地域センター管内
5	(モデル地区外) 中央南部地区	中央地域のうち、高丘、日の出町、元町、川上町、椎の木町、八景町、南が丘町、南町、星取、小菅町、国分町、戸町、上戸町、新戸町。 小ヶ倉地域センター管内
6	東部郊外地区	日見、東長崎の各地域センター管内
7	南部郊外地区	土井首、深堀、香焼、伊王島、高島、三和、野母崎の各地域センター管内
8	北部郊外地区	三重、外海、琴海の各地域センター管内
9	無回答	町丁目名の記入がなかったもの

選択肢	回答数	回答者の比率	実際の人口比率	
① モデル地区内	131	18.4%	18.6%	
モデル地区外	② 中央北部地区	212	29.7%	32.3%
	③ 中央東部地区	68	9.5%	8.8%
	④ 中央西部地区	41	5.8%	4.6%
	⑤ 中央南部地区	64	9.0%	6.6%
	⑥ 東部郊外地区	79	11.1%	11.2%
	⑦ 南部郊外地区	56	7.9%	9.2%
	⑧ 北部郊外地区	53	7.4%	8.8%
⑨ 無回答	9	1.3%		
計	713			

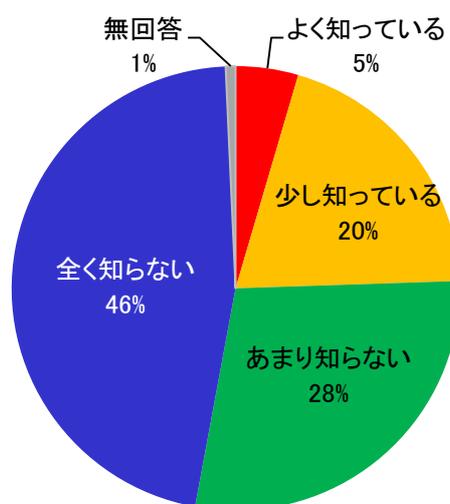


回答者の居住地は、モデル地区内と中央北部地区に居住する回答者がほぼ半数を占める結果となった。一方、モデル地区から離れた郊外地区の在住者からの回答も26%を占めており、長崎市内全域から回答をいただけたものと判断できる。

- ④ 問4 あなたは長崎市が「景観まちづくり刷新モデル地区」に指定されたことはご存じですか。
(回答数 N=713)

- | | | |
|-----------|-----------|-------|
| ① よく知っている | ② 少し知っている | |
| ③ あまり知らない | ④ 全く知らない | ⑤ 無回答 |

選択肢	回答数	比率
① よく知っている	33	4.6%
② 少し知っている	142	19.9%
③ あまり知らない	202	28.4%
④ 全く知らない	331	46.4%
⑤ 無回答	5	0.7%
計	713	



長崎市が景観まちづくり刷新モデル地区に指定されたことについては、「よく知っている」と「少し知っている」を合わせて約 25%にとどまった。本事業が完了した後であっても、市民に広く知られていないことがうかがえる。

3.2 訪問客向けアンケート結果

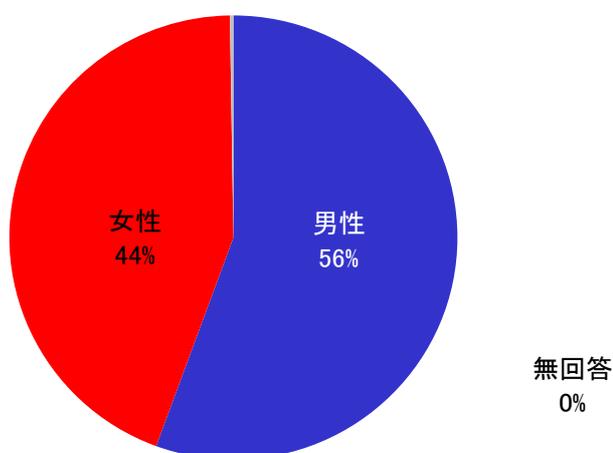
3.2 訪問客向けアンケート結果

訪問客向けにアンケートを実施した結果、404 名から回答をいただいた。ここでは、回答者の属性（性別、年代、居住地方）と本事業の認知度に係る回答状況について述べる。

① 問 1 あなたの性別をお答えください。(回答数 N=404)

① 男性 ② 女性 ③ 無回答

選択肢	回答数	比率
① 男性	225	55.7%
② 女性	178	44.1%
③ 無回答	1	0.2%
計	404	

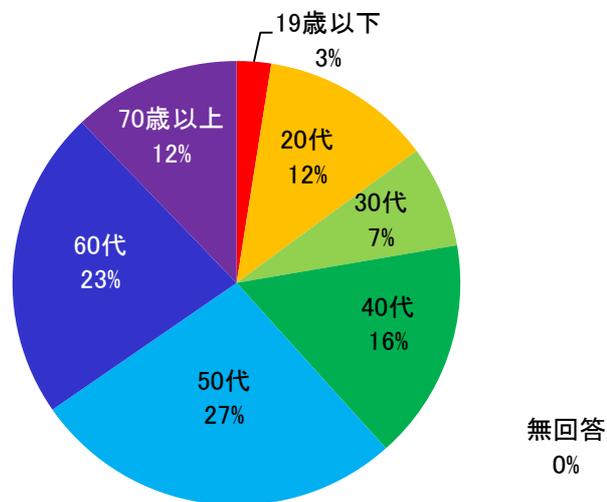


回答者の性別は男性が 56%、女性が 44%となり、男性の比率が高い結果となった。

② 問2 あなたの年齢をお答えください。(回答数 N=404)

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| ① 19歳以下 | ② 20～29歳 | ③ 30～39歳 | ④ 40～49歳 |
| ⑤ 50～59歳 | ⑥ 60～69歳 | ⑦ 70歳以上 | ⑧ 無回答 |

選択肢	回答数	比率
① 19歳以下	10	2.5%
② 20代	50	12.4%
③ 30代	30	7.4%
④ 40代	65	16.1%
⑤ 50代	109	27.0%
⑥ 60代	91	22.5%
⑦ 70歳以上	49	12.1%
⑧ 無回答	0	0.0%
計	404	



回答者の年齢は50代以上が6割を占めている。一方、30代以下の若い世代の比率が2割を超えており、市民向けの比率(15%)と比較して、若い世代からも回答を得ることができたと考える。

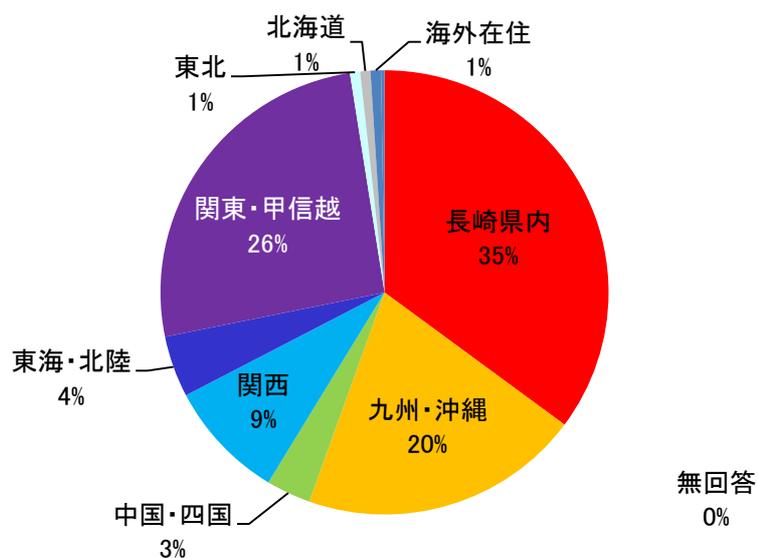
③ 問3 あなたのお住まいはどちらですか。都道府県名・国名をご記入ください。(回答数 N=404)

本問は回答者にお住まいの都道府県名に対応する地方名を選択する方式を取った。集計は記入した地方名・国名に応じて、以下の10地区に振り分けた。

地方名	都道府県名・地域名
①長崎県内	長崎県
②九州・沖縄	福岡県、佐賀県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
③中国・四国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
④関西	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
⑤東海・北陸	富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
⑥関東・甲信越	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県
⑦東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
⑧北海道	北海道
⑨海外	居住している国名及び地域名
⑩無回答	

※各地方の都道府県順は、都道府県コード番号の順である。

選択肢	回答数	比率
① 長崎県内	142	35.1%
② 九州・沖縄地方	82	20.3%
③ 中国・四国地方	13	3.2%
④ 関西地方	35	8.7%
⑤ 東海・北陸地方	18	4.5%
⑥ 関東・甲信越地方	104	25.7%
⑦ 東北地方	3	0.7%
⑧ 北海道地方	3	0.7%
⑨ 海外	3	0.7%
⑩ 無回答	1	0.2%
計	404	



訪問客の居住地別では長崎県内が35%と最も多く、関東・甲信越地方、長崎県以外の九州・沖縄地方がこれに続く結果となった。また、東北地方や北海道からの訪問客も確認され、国内の全ての地方から長崎市を訪れていることがわかる。

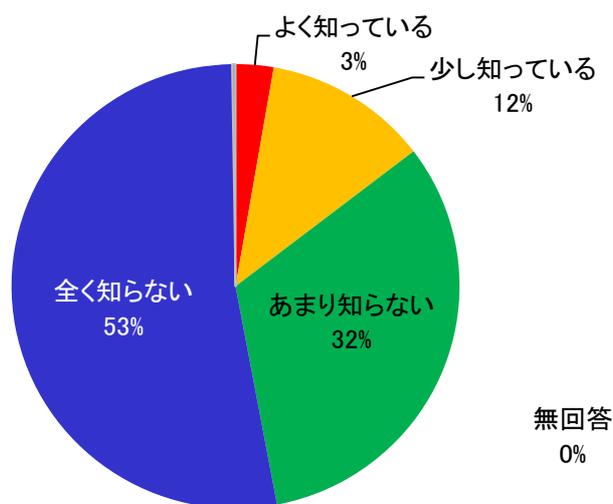
今回の観光客向けアンケートでは、海外から2ヶ国からの訪問客から回答をいただいた。国名の内訳は以下の通りである。

国名	人数
アメリカ	2
タイ	1
計	3

- ④ 問 4 あなたは長崎市が「景観まちづくり刷新モデル地区」に指定されたことはご存じですか。
(回答数 N=404)

- ① よく知っている ② 少し知っている
③ あまり知らない ④ 全く知らない ⑤ 無回答

選択肢	回答数	比率
① よく知っている	11	2.7%
② 少し知っている	48	11.9%
③ あまり知らない	131	32.4%
④ 全く知らない	213	52.7%
⑤ 無回答	1	0.2%
計	404	



モデル地区に指定されたことについて、「よく知っている」と「少し知っている」を合わせて15%であり、訪問客の認知度は市民と比較して低い。しかし、前回(平成30年度)調査では「よく知っている」と「少し知っている」を合わせて6%であったことを考慮すると、訪問客の本事業に対する認知度は高くなっていると判断できる。